

菅地区 体操ボランティア

B-3 ボランティアマニュアル



秘伝之書

わたししが両手をひろげても、
お空はちっともとべないが、
とべる小鳥はわたしのように、
地面(じべた)をはやくは走れない。

わたししからだをゆすっても、
きれいな音はでないけど、
あの鳴るすずはわたしのように
たくさんうたは知らないよ。

すすと、小鳥と、それからわたし、
みんなちがって、みんないい。

金子みすゞ「わたしと小鳥とすすと」



2009年3月

作成・協力

菅地区体操ボランティアのみなさま

多摩区保健福祉センター 担当保健師：小林 高橋 河北

東京都老人総合研究所

社会参加とヘルスプロモーション研究チーム

本冊子は 平成20年度厚生労働科学研究費補助金政策科学総合研究事業の助成を受け作成しました。

体操ボランティアを 楽しく続けるための七箇条

一、無理をしない。素直で

格好をつけて無理に虚勢を張っても疲れるだけです。自然体で参加しましょう。

二、比べなければ、迷いも悩みも ありません

自分は自分、人は人。張り合っても仕方ありません。

三、先ず、挨拶より始めよ

「おはよう」「さようなら」といった挨拶から交流は始まります。

四、無事こそ最優先

いくら健康に良くても、怪我をしては本末転倒です。